

# 後眼部疾患を点眼治療

## リポソーム効率的に薬剤送達

岐阜薬科大

調整したりポソームと比べ良好な送達性が確認された。細胞毒性に関して、MTS試験の結果、リポソームによる細胞障害性はほとんど認められなかった。

後眼部の網膜の病気に對する治療は、製薬企業にとつて重要な治療薬開発領域の1つ。新技術が実用化されて点眼で網膜に薬を効率よく送達できれば、注射や手術を必要としない治療の可能性が広がる。

後眼部疾患では、結膜

送達させるもので、マウスを使った実験で有用性を確認した。点眼薬では眼の裏側まで薬剤は届かないという一般的な常識を覆す成果で、患者負担を大幅に軽減する新技術として注目されそうだ。

下や硝子体にステロイド注射を行うといった治療が一般的に行われていた。岐阜薬科大の竹内洋文教授や原英彰教授らは、リポソーム製剤の新規調整法により、非侵襲的に薬剤を後眼部に到達させることを可能にし

た。後眼部到達用リポソーム、後眼部疾患用医薬組成物、点眼剤としての特許は今年2月に出願されている。

後眼部への到達性をマウスで評価したところ、新規調整法を使ったリポソーム製剤は、従来法で

岐阜薬科大学の研究グループは、加齢性黄斑変性症や糖尿病性網膜症などの後眼部疾患に對して点眼治療を可能にするドックグデリバリーシステム(DDS)を開発した。薬剤をリポソームで包み込み、後眼部へ効率よく